



国境なき助け合い、期待

きもと ゆうたろう
木本 悠太郎さん(福井工大福井高1年)

は日本の福祉を支える大きな人材になると期待されている。

熊本地震の時、家に帰れなくなったたくさんの高齢者の方を多くの外国人が助けているニュースが流れた。高齢者の方は涙を流して喜び、外国人はインタビューで「人を助けるのに国境は関係ない」と言っていた。

世界の各地でさまざまな紛争が起こっている中、国境を越えた優しさで世界がつながり、人と人が助け合う優しい世の中が期待できる記事だと感じた。

この記事から、介護福祉士養成校へのベトナム出身留学生の入学が本格的に始まったと知り、介護士の外国人育成について考えさせられた。

介護職を目指す日本人が減っている中で、ベトナム人留学生は「お年寄りのお世話が好きだから介護職に就きたい」「少子高齢化が進む日本で何か手伝いたい」など意欲があり、外国人の介護福祉士

介護 外国人養成に力

—— 県内3校 28人が入学



入管法改正 受け入れ進む

「フォーカス 福井」

県内3校 28人が入学

介護福祉士養成校へのベトナム出身留学生の入学が本格的に始まったと知り、介護士の外国人育成について考えさせられた。

介護職を目指す日本人が減っている中で、ベトナム人留学生は「お年寄りのお世話が好きだから介護職に就きたい」「少子高齢化が進む日本で何か手伝いたい」など意欲があり、外国人の介護福祉士